

福島労働局発表



平成28年10月5日

担当

福島労働局 労働基準部

健康安全課長 清水 俊明

産業安全専門官 松尾 真由美

電話024-536-4603 (直通)

「福島労働局・総合建設業労働災害撲滅対策会議」を開催

～総合建設業者(ゼネコン)約40社、100名が出席～

福島労働局（局長 島浦幸夫）は、福島県内で復旧・復興工事、除染作業を含む建設工事を施工している総合建設業者(ゼネコン)を対象として、自主的な労働災害防止活動の一層の活性化を図るため、下記により、福島労働局・総合建設業労働災害撲滅対策会議を開催します。

福島県内における建設業の労働災害発生状況は、東日本大大震災前の5年間の労働災害発生状況に比べ、震災以降多発し高水準で推移している状況にあります。とりわけ死亡災害は毎年10人を超え、震災前後の各5年間の平均は5人強の増加、また、昨年は14人で対前年比で3人増加、今年9月末現在における死亡災害は8人という状況です。

このような労働災害発生状況、本年度における建設工事発注状況等を踏まえ、さらなる労働災害の減少を図るため、福島労働局は、約40社のゼネコンとの会議を開催します。

記

日時 平成28年10月11日（火） 午後1時30分より

場所 コラッセふくしま 4階多目的ホール（福島市三河南町1-20）

出席者 福島県内で工事を行う総合建設業者（ゼネコン）約40社100名
※各社東北支店の安全担当部長、各現場の現場責任者等が出席予定

議題 ① 労働災害発生状況及び労働災害防止対策について
② 適切な健康管理について
③ 監督指導結果について
④ 災害防止の取組事例発表

※ 本対策会議は、平成26年8月の「死亡労働災害多発非常事態宣言」を受け、同年9月に初めて開催して以降、今回で5回目（今年度1回目）の開催となります。